

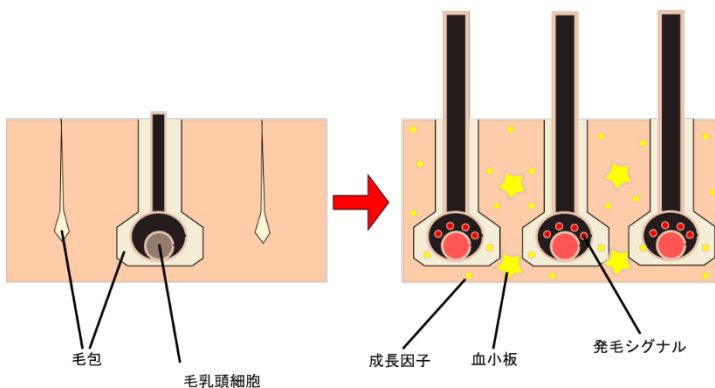
## 多血小板血漿を用いた毛髪組織再生療法について

### 1. 期待される効果

血小板は、血液中に含まれる細胞で、体の中では怪我をしたときのかさぶたの形成や傷の治癒に働いています。血小板には、成長因子と呼ばれる、細胞の増殖や活性化に働く物質を放出することにより、細胞の増殖促進、活性化する働きがあります。

本治療により、血小板から分泌される様々な成長因子が、毛乳頭細胞と呼ばれる毛髪の周期を調節する機能を持つ細胞に働きかけ、毛髪の成長期(毛が伸びる時期)を延長し、退行期(成長が終わり、毛が抜ける時期)が来るのを遅らせることにより、発毛の促進及び抜け毛の抑制に効果が期待されます。また、通常、毛が抜け落ちても、毛包と呼ばれる毛根を包み込む器官から新しい毛が生え変わりますが、薄毛の場合は毛包が損傷し、新しい毛が生えにくくなることが知られています。この治療法では、血小板から分泌される成長因子が、毛包を形成するケラチノサイトや毛乳頭細胞などの増殖を促進することにより、毛包を再生し、新しい毛が生えてきやすくする効果が期待されます。

図1. 治療の効果(イメージ図)



### 2. 治療の方法

まず、ご自身の血液を前腕部から約11~22ml採取します。

続いて、採取した血液から手術室内の設備を用いて多血小板血漿を作製します。血液には、血小板以外にも白血球や赤血球などの細胞が含まれていますが、遠心分離という方法を用いて、血小板が濃縮された血漿(白血球も少し含まれています)を抽出します。

最後に、作製した多血小板血漿を薄毛が見られる部位に注射器を用いて注入します。

採血から多血小板血漿の注入まで、1時間程度で完了しますので、1日で1回の治療を受けることが可能です。

治療は、症状に応じて数カ月に1回実施します。

### 3. 起こりうる副作用

この治療を受けることにより、注入した部分に軽い痛みや熱感、赤い腫れ、内出血などが起こり、2~3日程度続く可能性がありますが、治療は必要なく、時間の経過により解消されます。

### 4. 他の治療法との比較

本治療法と近い効果が得られる治療法には、ミノキシジル、プロペシア等の薬剤の服用があります。

これらの薬剤の服用は、既製の薬剤を服用するため、採血なども必要なく、より手軽かつ安価に治療を受けることができますが、毎日服用する必要があります。

一方で、本治療法は、採血をしなければならないため治療時間が長く、薬剤の服用よりも治療費も高額になりますが、患者様本人の細胞を用いるため拒絶反応の心配もなく、症状にもよりますが、数カ月に1回の治療で効果が期待できます。